

西宮市公共施設内における通勤用自動車の駐車に関する要綱【学校園用】

(趣旨)

第1条 この要綱は、市が管理する施設（西宮市立山東自然の家を除く。以下「施設」という。）に勤務する職員等が当該施設内に通勤のため自動車（道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）別表第1に定める普通自動車、小型自動車及び軽自動車（二輪自動車を除く。）をいう。以下同じ。）を駐車すること（以下「駐車利用」という。）に関して必要な事項を定める。

(職員等の範囲)

第2条 この要綱において、「職員等」とは、次の各号に掲げる者をいう。

- (1) 西宮市職員定数条例（昭和24年西宮市条例第45号）第2条に規定する定数内職員
- (2) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員
- (3) 県費負担教職員
- (4) 公益法人等への職員の派遣等に関する条例（平成13年西宮市条例第34号）に基づき派遣されている職員
- (5) 非常勤職員（第2号に掲げる職員を除く。）
- (6) 臨時的任用職員
- (7) その他市長が必要と認める者

(駐車利用の申請)

第3条 駐車利用を行おうとする職員等は、公共施設内駐車利用申請書（様式第1号）に、通勤届の写しを添付して、施設の管理責任者（以下「施設管理者」といい、校園長をさす。）の承認を経て、教育委員会に申請しなければならない。

(駐車利用の許可)

第4条 教育委員会は、施設管理者が前条の規定による申請を受け、当該施設に係る業務に支障がないと認める場合に限り、駐車利用を許可することができる。この場合において、教育委員会は、当該施設の管理について必要な条件を付することができる。

2 前項の規定による許可は、1月を単位とする。使用を開始する日が月の初日でない場合又は使用を終了する日が月の末日でない場合における当該月の駐車についても、同様とする。

3 第1項の規定による許可を得ていない職員等で、次の各号のいずれかに該当するものは、一時的な駐車利用について施設管理者に許可を求めることができる。

- (1) 出張、介護（面会）通院その他の事由により公共交通機関を利用して通勤することが著しく困難であると施設管理者が認める者
- (2) 公共交通機関が事故等で利用できない者

4 施設管理者は、前項の規定により一時的な駐車利用を許可したときは、台帳を作成し、当該利用の状況を管理しなければならない。

5 水防又は防災指令の発令その他業務上の緊急呼出しに応じて出勤する者については、第1項又は第3項の規定による駐車利用の許可を要しない。

(駐車の利用条件)

第5条 前条の規定により駐車利用の許可を受けた職員等（以下「利用者」という。）は、次に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 学校園に係る業務及び緊急車両等の進入に支障が生じないように駐車すること。
- (2) 駐車にあたっては、施設管理者の指示に従うこと。

- (3) 学校園内においては、児童、生徒、歩行者等に注意し、徐行すること。
 - (4) 学校園で行事等が行われる場合は、施設管理者が実施する駐車制限に従うこと。
- 2 利用者は、必要な保険に加入しなければならない。

(駐車許可証の交付)

- 第 6 条 教育委員会は、第 4 条の規定により駐車利用を許可したときは、駐車許可証 (様式第 2 号) を交付する。
- 2 駐車許可証の交付を受けた利用者は、施設内に駐車するときは、当該自動車内の外から確認できる位置に駐車許可証を掲示しなければならない。

(駐車料の額)

- 第 7 条 利用者は、別表に定める駐車料を納付しなければならない。ただし、第 4 条第 3 項の規定により許可を受けた者が 1 月において駐車する日数が 5 日以下の場合は、当該月の駐車料は徴収しない。

(駐車料の徴収方法)

- 第 8 条 駐車料は、駐車した月の翌月末日 (その日が土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日当たるときは、順次繰り下げた日) までに納付しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、第 4 条第 1 項の規定による許可の期間が複数月の場合は、複数月の駐車料を合わせて徴収することができる。この場合において、徴収する月数及び納付期限は、教育委員会が定めるところによる。

(駐車料の減免)

- 第 9 条 身体障害者その他教育委員会が特に必要があると認める場合は、駐車料を減免することができる。

(駐車利用の中止・変更の申請)

- 第 10 条 利用者は、当該駐車利用を中止し、又は許可を受けた内容を変更しようとするときは、公共施設内駐車利用 (中止・変更) 申請書 (様式第 3 号) により施設管理者の承認を経て、教育委員会に申請しなければならない。
- 2 教育委員会は、施設管理者が前項の規定による申請が適当であると認めるときは、公共施設内駐車利用 (中止・変更) 許可書 (様式第 4 号) を申請者に交付するものとする。

(駐車利用の許可取消)

- 第 11 条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、駐車利用の許可を取り消すことができる。
- (1) 許可を受けた施設の業務に支障を生じることとなったとき。
 - (2) 許可に付した条件又は第 5 条に規定する駐車料の条件に違反したとき。
 - (3) 駐車料の納付を 1 月以上滞納したとき。
 - (4) その他教育委員会が許可の取消しを必要と認めたとき。
- 2 教育委員会は、前項の規定により駐車利用の許可を取り消したときは、公共施設内駐車利用許可取消通知書 (様式第 5 号) により、通知するものとする。

(駐車許可証の返還)

- 第 12 条 前 2 条の規定により駐車利用を中止し、もしくは駐車利用の許可を取り消された利用者又は

第 4 条第 1 項の規定による許可の期間を経過した者は、速やかに第 6 条の規定により交付された駐車許可証を教育委員会に返還しなければならない。

(損害賠償)

第 1 3 条 利用者は、自動車を施設内に駐車する場合において、当該施設、附属設備その他の財産を毀損し、又は滅失させたときは、その損害を賠償しなければならない。

(市の免責)

第 1 4 条 施設内において生じた駐車利用に係る事故及び損害については、市は賠償の責めを負わないものとする。

(委任)

第 1 5 条 この要綱に定めるもののほか、駐車利用に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 1 9 年 5 月 1 日から実施する。

別表 (第 7 条関係)

施設の区分		駐車料の額 (月額)
(1) 塩瀬支所及び山口支所の所管区域並びに西宮浜 1 丁目、西宮浜 2 丁目、西宮浜 3 丁目、西宮浜 4 丁目、甲子園浜 1 丁目、甲子園浜 2 丁目、甲子園浜 3 丁目、鳴尾浜 1 丁目、鳴尾浜 2 丁目及び鳴尾浜 3 丁目に所在する施設並びに西宮市北山公園、西宮市立甲山墓園、甲山自然の家、西宮市立越木岩幼稚園、西宮市立苦楽園小学校及び西宮市立苦楽園中学校		1 , 0 0 0 円
(2) 上記以外の施設	ア 西宮市行政財産使用料条例(昭和 42 年西宮市条例第 46 号)の規定に基づき算出した使用料 (以下「使用料」という。) が 4,000 円未満の施設	3 , 0 0 0 円
	イ 使用料が 4,000 円以上 5,000 円未満の施設	4 , 0 0 0 円
	ウ 使用料が 5,000 円以上の施設	5 , 0 0 0 円